

令和 2 年度秋学期授業アンケート結果について

【講 評】

平成 28 年度春学期より、授業アンケートについては KIU ポータルを活用した Web 回答方式へと変更しました。令和 2 年度春学期は新型コロナウイルス感染症の影響により全ての講義を遠隔授業にて実施しました。秋学期のアンケートへの回答率は更に減少しました（今学期 23.68%、春学期 30.31%、前年度秋学期 55.95%、前年度春学期 60.64%）。秋学期は対面授業を再開（一部遠隔授業）したものの、12 月から遠隔授業への変更が生じたことも理由の一つと思われます。また、アンケートの全体平均数値も、昨年度を下回りました。回答率が 50% を上回る科目は、実施対象科目 436 科目のうち 27 科目しかなく、授業が対面で十分に行われなかったことが明らかに影響していると思われます。学生コメントについても件数は減少しました（今学期 1,052 件、春学期 1,629 件、前年度秋学期 1,480 件、前年度春学期 2,546 件）。その中で改善希望の割合は今学期 22.1% で、前年同期より低い数値となり減少傾向にあります（春学期 28.9%、前年度秋学期 23.4%、前年度春学期 39.7%）。

本アンケートの結果は学生の生の声が集約されたものです。先生方には、結果を十分吟味検討し、わかりやすく学生の満足度の高い授業の実現へ役立てていただくことを切に望みます。今回の授業満足度が低評価となった科目においては、授業改善を早急に行ってください。

※ 今回、アンケート項目の一部を対面及び遠隔授業に対応した内容に変更しました（質問項目下線部分）。13 の質問項目のうち、授業の内容、技術に関する問 9 までの項目を抽出し、次ページ以降に教養教育科目や専門科目など 9 つのグループに分類し、前年同期（2019 年度秋学期）と比較できるよう掲載しましたが、遠隔授業下でのアンケート実施であったことをご寛容ください。

質問項目（下線は今学期の変更内容）

- 問 1 授業の到達目標（テーマや目的）は毎回明確に示されていましたか。
- 問 2 授業内容（授業資料や課題を含む）は理解しやすい適切なレベルでしたか。
- 問 3 授業は学生の理解度や学修の進捗度を確認しながら進められていましたか（授業中または授業全体を通して）。
- 問 4 （対面授業）教員の声や話し方は聞き取りやすかったと思いますか。
（遠隔授業）授業資料や課題は適切な量だったと思いますか。
- 問 5 （対面授業）教員は教えることに熱意・情熱を持って授業に取り組んでいましたか。
（遠隔授業）授業資料や課題は分かりやすくまとめられていましたか（説明されていたか）。
- 問 6 （対面授業）教員は授業を妨害する私語や途中退室などに適切な処置を取っていましたか。
（遠隔授業）授業ではその日の授業内容を踏まえた「課題」が提示されていましたか。
- 問 7 教員は課題や小テストに対するフィードバックや質問に対する回答に努めていたと思いますか。
- 問 8 この授業から学習への刺激や触発を受けることが多かったと思いますか。
- 問 9 この授業を受けて満足しましたか。
- 問 10 あなたがこの授業に出席した比率は、およそ何%ですか。なお、ここでいう「出席」とは、対面型・同時双方向型以外では、期限内に課題を提出した場合を指します。
- 問 11 あなたはこの授業 1 回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか。
- 問 12 この授業を受講する際に主に使用した機材は何ですか。1 つ選んでください。
- 問 13 教員は授業開始時間を守っていましたか。／教員は授業開始時間までに授業資料や課題を準備していましたか。

◆ アンケート実施科目全体の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 436 科目	19,642	4,651	23.68	4.31	4.18	4.16	4.24	4.28	4.28	4.21	4.05	4.16
2019 秋 436 科目	19,560	10,944	55.95	4.23	4.15	4.12	4.20	4.24	4.14	4.18	4.04	4.13

2020 年度秋学期は授業が対面方式の場合（ゼミや語学など）は 11 月までが対面方式で 12 月からは遠隔方式、履修者が多い授業は最初から遠隔方式で行われたため、昨年度との単純な比較は難しいと思います。しかしながら、全ての項目の評定平均が昨年度より高くなっていることから、慣れない授業形式の中、教員の工夫や努力が評価に反映されたのではないかと思います。

1. 共通教育科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 54 科目	4,871	1,131	23.22	4.26 (4.31)	4.09 (4.18)	4.05 (4.16)	4.18 (4.24)	4.20 (4.28)	4.22 (4.28)	4.14 (4.21)	3.95 (4.05)	4.06 (4.16)
2019 秋 58 科目	4,609	2,339	50.75	4.15 (4.23)	4.02 (4.15)	3.96 (4.12)	4.09 (4.20)	4.16 (4.24)	4.02 (4.14)	4.07 (4.18)	3.91 (4.04)	3.98 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

全学部共通の共通教育科目（語学、実習科目を除く）は、全体の平均と比べ、やや低い数値となっていますが、際立って低いわけではなく、昨年度より上昇しています。現代ビジネス学部のアカデミックライティングⅡに対する自由記入の評価にばらつきがありました。対面授業での実施であれ遠隔授業を共通の動画で行う場合であれ、複数教員が担当する同一科目においては、授業の質の担保が今後の課題となるように思われます。

2. 外国語科目（英語必修科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 15 科目	632	179	28.32	4.09 (4.31)	4.04 (4.18)	4.04 (4.16)	4.10 (4.24)	4.24 (4.28)	4.19 (4.28)	4.08 (4.21)	3.86 (4.05)	4.01 (4.16)
2019 秋 14 科目	590	337	57.12	4.02 (4.23)	4.01 (4.15)	4.00 (4.12)	4.13 (4.20)	4.18 (4.24)	4.00 (4.14)	4.08 (4.18)	3.83 (4.04)	4.01 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

全学部共通の英語必修科目の回答は、全体の平均よりも低くなっています。英語Ⅱにおいても現代ビジネス学部のアカデミックライティングⅡと同様、教員間で評価に差があるなどしてありました。レベルに合わせてクラス分けがなされているため、難しい面はあるでしょうけれども、複数教員が担当する同一科目として、授業の質の担保が今後の課題になるように思われます。

3. 外国語科目（選択科目）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 30 科目	822	201	24.45	4.32 (4.31)	4.23 (4.18)	4.22 (4.16)	4.30 (4.24)	4.40 (4.28)	4.35 (4.28)	4.31 (4.21)	4.11 (4.05)	4.23 (4.16)
2019 秋 29 科目	820	458	55.85	4.31 (4.23)	4.26 (4.15)	4.29 (4.12)	4.33 (4.20)	4.37 (4.24)	4.23 (4.14)	4.29 (4.18)	4.16 (4.04)	4.28 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

全学部共通の外国語の選択科目においては、自由記入欄における改善を要望する声のほとんどが遠隔授業に切り替わって以降のものであったことから、学生たちは対面授業においてはおおむね満足しており、遠隔授業での対応あるいは遠隔授業それ自体に対する要望があるようにも見て取れるように思われました。遠隔授業に切り替わった場合の、改善や工夫が望まれるように思われました。

4. 留学生科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 3 科目	59	21	35.59	4.33 (4.31)	4.38 (4.18)	4.52 (4.16)	4.42 (4.24)	4.33 (4.28)	4.33 (4.28)	4.33 (4.21)	4.23 (4.05)	4.04 (4.16)
2019 秋 3 科目	69	38	55.07	4.50 (4.23)	4.42 (4.15)	4.42 (4.12)	4.52 (4.20)	4.42 (4.24)	4.23 (4.14)	4.31 (4.18)	4.18 (4.04)	4.39 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

留学生科目は、回答率が前年同期より著しく低下しました。また、昨年度に比べて数値が異なっています。遠隔授業であったこともあると思いますが、担当教員（共に非常勤講師）が変わったこともその理由であるように思われます。

5. 法学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 30 科目	2,658	519	19.53	4.37 (4.31)	4.17 (4.18)	4.18 (4.16)	4.20 (4.24)	4.30 (4.28)	4.30 (4.28)	4.19 (4.21)	4.08 (4.05)	4.21 (4.16)
2019 秋 31 科目	2,952	1,647	55.79	4.17 (4.23)	4.06 (4.15)	4.01 (4.12)	4.09 (4.20)	4.15 (4.24)	4.10 (4.14)	4.11 (4.18)	3.95 (4.04)	4.03 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

法学部の専門科目は、回答率が低いものの、昨年度に比べ、全ての項目において数値が大きく上昇しています。多くの授業で授業満足度が4点台を超えており、多くの授業が学生の要望に応えたものであったように思われます。授業資料の工夫だけでなく、遠隔授業での教員の声の聞きやすさが評判のよい授業もあり、そのような点への配慮は共有していけるといいと思われます。

6. 現代ビジネス学部専門科目（経済学部及び国際関係学部専門科目を含む）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 95 科目	6,940	1,736	25.01	4.32 (4.31)	4.15 (4.18)	4.14 (4.16)	4.22 (4.24)	4.25 (4.28)	4.27 (4.28)	4.18 (4.21)	4.02 (4.05)	4.13 (4.16)
2019 秋 104 科目	7,062	4,121	58.35	4.26 (4.23)	4.17 (4.15)	4.15 (4.12)	4.21 (4.20)	4.27 (4.24)	4.18 (4.14)	4.22 (4.18)	4.07 (4.04)	4.16 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

現代ビジネス学部（経済学部及び国際関係学部を含む）の専門科目は、授業満足度をはじめ、それ以外の項目においても、昨年とほぼ同様の評価となっています。自由記入欄への学生の回答では、形式に関して、また難易度に関して、同じ授業においても賛否が分かれていることが見て取れます。特に地域経済学科においては学生の学力差に大きな開きがあるため、どのレベルの学生に照準を合わせても、受講生全員を満足させる授業をすることの難しさを痛感させるものとなっています。その中で、大津先生の国際経済学は満足度が高く、参考になるように思われます。

7. 資格科目（スポーツ指導員科目・教職課程・図書館学課程）の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 31 科目	779	179	22.98	4.44 (4.31)	4.38 (4.18)	4.30 (4.16)	4.36 (4.24)	4.45 (4.28)	4.36 (4.28)	4.28 (4.21)	4.24 (4.05)	4.35 (4.16)
2019 秋 28 科目	820	536	65.37	4.22 (4.23)	4.14 (4.15)	4.09 (4.12)	4.19 (4.20)	4.21 (4.24)	4.11 (4.14)	4.14 (4.18)	4.10 (4.04)	4.16 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

資格科目には特別教育科目のスポーツ指導員科目を含みます。春学期において資格科目は回答率がこれまでと比べて激減し、授業満足度も大きく下がりましたが、秋学期は回答率、数値ともに大幅に上昇しました。春学期に比べて、専任教員はもとより、非常勤講師による授業の満足度も春学期に比べて上がっていました。

8. 実習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 9 科目	223	52	23.32	4.15 (4.31)	4.23 (4.18)	4.03 (4.16)	4.03 (4.24)	4.25 (4.28)	4.19 (4.28)	4.05 (4.21)	4.21 (4.05)	4.25 (4.16)
2019 秋 13 科目	260	147	56.54	4.38 (4.23)	4.40 (4.15)	4.38 (4.12)	4.38 (4.20)	4.42 (4.24)	4.22 (4.14)	4.32 (4.18)	4.29 (4.04)	4.36 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

実習科目について、春学期は遠隔授業実施による開講の調整で春学期終了科目が無かったためアンケートの実施がありませんでした。秋学期においても海外語学実習等が閉講になり開講科目数は少なくなりましたが、代替措置として開講した海外語学実習（海外遠隔授業）は非常に高い満足度となりました。また、実習科目によって評価にばらつきが見られます。学外でプロジェクトを実践することができなかつたため、地域づくり実習への評価が低くなっておりませんが、このコロナ禍の中では仕方のないことだったのでないかと思われます。

9. 演習科目の平均

	履修者数	回答者数	回答率	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9
2020 秋 169 科目	2,658	633	23.81	4.38 (4.31)	4.36 (4.18)	4.39 (4.16)	4.43 (4.24)	4.41 (4.28)	4.37 (4.28)	4.40 (4.21)	4.21 (4.05)	4.36 (4.16)
2019 秋 156 科目	2,378	1,293	54.37	4.37 (4.23)	4.35 (4.15)	4.36 (4.12)	4.41 (4.20)	4.39 (4.24)	4.27 (4.14)	4.36 (4.18)	4.24 (4.04)	4.33 (4.13)

※（ ）内はアンケート全体の数値

演習科目の回答は、例年全体平均と比較して全ての項目で数値が高いものの、一方で、各科目の回答率に大きなばらつきが見られます。特に、3、4年次配当科目の回答率向上が課題といえます。これは、これまでの対面授業における課題でもありましたが、今回も同様であるように思われます。

10. 学修時間及び学修行動について

問 10. あなたがこの授業に出席した比率は、およそ何%ですか。なお、ここでいう「出席」とは、対面型・同時双方向型以外では期限内に課題を提出した場合を指します（全体に対する回答者の割合）。

	20% 以下	40% 程度	60% 程度	80% 程度	ほぼ 100%
2018 春	0.9 %	1.2 %	13.9 %	33.7 %	50.3 %
2018 秋	1.4 %	1.5 %	17.9 %	36.4 %	42.8 %
2019 春	1.0 %	1.5 %	17.0 %	34.6 %	45.9 %
2019 秋	1.1 %	1.6 %	20.1 %	36.6 %	40.7 %
2020 春	0.4 %	0.8 %	5.7 %	21.1 %	71.9 %
2020 秋	1.1 %	1.1 %	7.2 %	29.0 %	61.6 %

春学期に続いて、遠隔授業への出席が非常に高い割合となっています。オンデマンド型の授業の場合、学生が自分の体調や都合に合わせて受講できることがその理由であるように思われます。

問 11. あなたはこの授業 1 回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか（全体に対する回答者の割合）。

	全くして いない	30分 程度	1時間 程度	2時間 程度	3時間 以上	平均 (分)	学修したと回 答した学生の 平均 (分)
2016 春	61.0 %	22.4 %	9.8 %	3.0 %	3.8 %	23.09 分	59.20 分
2016 秋	63.3 %	20.1 %	10.4 %	2.6 %	3.7 %	21.99 分	59.87 分
2017 春	56.9 %	24.8 %	10.7 %	3.9 %	3.7 %	25.22 分	58.47 分
2017 秋	55.6 %	24.6 %	11.5 %	4.2 %	4.1 %	26.61 分	59.99 分
2018 春	48.8 %	28.7 %	12.5 %	4.3 %	5.6 %	31.45 分	61.47 分
2018 秋	53.4 %	25.8 %	12.3 %	4.2 %	4.4 %	27.98 分	59.99 分
2019 春	52.4 %	28.2 %	11.7 %	3.9 %	3.7 %	26.88 分	56.54 分
2019 秋	56.2 %	26.0 %	11.4 %	3.5 %	2.9 %	24.04 分	54.94 分
2020 春	26.1 %	38.8 %	25.5 %	6.8 %	2.8 %	40.15 分	54.33 分
2020 秋	26.6 %	40.8 %	23.5 %	5.9 %	3.1 %	39.02 分	53.20 分

事前準備や復習を「全くしていない」と回答した割合が昨年度より半減しています。これは遠隔授業によるものが大きいと思われます。平均学修時間も、1時間程度の事前事後学習時間をとった学生が 23.5%と、春学期に続いてよい傾向がみられました。

《2020 年度春学期及び秋学期独自の質問項目》

問 12. この授業を受講する際に主に使用した機材は何ですか。一つ選んでください。(回答人数及び全体に対する回答者の割合)。

		パソコン	タブレット	スマート フォン	大学の PC教室	その他
2020 春	人数	4,242	233	1,248	15	58
	割合	73.2 %	4.0 %	21.5 %	0.3 %	1.0 %
2020 秋	人数	3,228	167	1,135	36	65
	割合	69.7 %	3.6 %	24.5 %	0.8 %	1.4 %

遠隔授業の受講にはパソコンを使用したと回答した割合が非常に高くなっています。

以 上